

CHRISTIE'S

PRESS RELEASE

2019年2月7日

クリスティーズが引き続き世界の美術市場をリード

2018年度の年間売上高は 53億^{ポンド}/70億ドル (約7,613億円) を達成

- ロックフェラーそして エブスワースなど世界有数のコレクションを受託
- 全出品作品のロットベース落札率は 82%を達成
- プライベートセールの売上総額は4億9,120万ポンド (約698億円)で前年度比4%増
- バイヤー全体の32%を新規顧客は占め、約4割はオンラインオークションが窓口



左上より時計まわりに: エドワード・ホッパー「チャプスイ」1929 落札価格91,875,000^{ドル} (約101億円) ニューヨーク、「アッシリア帝国アッシュールナシルバル II 世の宮殿のための翼の精霊のレリーフ」883-859BC頃 落札価格30,968,750^{ドル} (約34億円) ニューヨーク、フランシス・ベーコン「運動中の人物」1972 落札価格19,921,250^{ポンド} (約28億円) ロンドン、クロード・モネ「睡蓮」1914-17 落札価格84,687,500^{ドル} (約93億円) ニューヨーク、蘇軾「木石図」落札価格463,600,000^{香港ドル} (約65億円) 香港、アンソニー・ヴァン・ダイク「プリンセス・メアリーの肖像」落札価格5,858,750^{ポンド} (約8億円) ロンドン、「清乾隆鬃彩八宝文天球瓶」1736-1795 落札価格130,600,000^{香港ドル} (約18億円) 香港、「ウィンストン・ピンク・レガシー」落札価格50,375,000^{スイスフラン} (約55億円) ジュネーブ、アダム・ファン・フィアーネン「銀の水差し」1619オランダ 落札価格5,375,000^{ドル} (約6億円) ニューヨーク

ロンドン・クリスティーズは、2018年度、創業以来の最高額となる年間売上高53億ポンド、前年度比3%増/約70億ドル、前年度比6%増 (約7,613億円) を達成したことを発表しました。個人コレクションとして過去最高額を記録したロックフェラー・コレクションをはじめとする卓越した実績を打ち立てたクリスティーズはグローバル・アート市場の揺るぎないマーケットリーダーの地位を確立しています。

オークションによる売上高は、47億ポンド、前年度比3%増/63億ドル、前年度比6%増 (約6,802億円)、そしてロットベースでの落札率が82%に達したことは、綿密なセール構成と慎重な価格設定が功を奏した結果といえます。

プライベートセールの売上高は4億9,120万ポンド、前年度比4%増/6億5,330万ドル、前年度比7%増 (約708億円) にのびりました。年間を通じて88回開催されたオンラインオンリー・オークションの落札総額は6,510万ポンド 前年度比16%増

/8,660万ドル、前年度比20%増（約94億円）となりました。新規顧客はバイヤー全体の32%、新規顧客による落札総額は20%増となりました。新規のバイヤーの41%がオンラインオークションを導入口としており（前年度の37%より拡大）オンラインオークションが新規顧客開拓に大きく貢献していることを示しています。新規顧客を最も多く呼び込んだカテゴリーは、ラグジュアリー（32%）と戦後とコンテンポラリーアート（16%）でした。高額作品の需要も依然として高く、1,000万ポンドを超える落札価格を達成した作品は67点にのぼりました。（2017年は65点）

ギヨーム・セルツェイ クリスティーズCEO

2018年はクリスティーズにとって記録的な1年となりました。数々の重要なコレクションの出品や全てのカテゴリーにおいて強い需要が示されました。年末頃から政治的な要因により経済環境悪化の懸念が強まるなかでも、賢明かつ専門的なキュレーション、セレクションと値付けを行い、2019年も好調を継続できると確信しています。

アメリカ：コレクションの革新的なプレゼンテーションが優位性の鍵

2018年アメリカにおける売上高は27億ポンド、前年度比9%増/36億ドル、前年度比12%増（約3,897億円）を達成しました。アメリカの顧客は全体の39%、新規顧客の40%を占めました。

- ベギー & デヴィッド・ロックフェラー・コレクションのセールは、落札総額\$835,111,344（約919億円）を記録し、プライベートコレクションとしての過去最高額を達成。その収益は12の慈善団体に寄贈されました。
- 2018年クリスティーズ・アメリカではこのほか、ティッシュ、スタッフオード、エブスワース、アンダーソン、デ・メニル、ニューハウス、バックスバウム、クラッパー、ザッカー、ソー、ローズ、そしてペレンチオなどの重要な個人コレクションを今までにないほど数多く受託し、いずれも記録的な結果を残しました。
- エドワード・ホッパー 落札価格91,875,000ドル（約101億円）、ウィレム・デ・クーニング 落札価格68,937,500ドル（約76億円）、ジャクソン・ポロック 落札価格55,437,500ドル（約61億円）、ジャスパー・ジョーンズ 落札価格21,125,000ドル（約23億円）などのマスターピースが率いたバーニー・A・エブスワース・コレクションはブロックチェーン・レジストリーを利用した初めての美術オークションとしても話題となりました。また、アメリカンアートの分野の成功に大きく貢献しました。
- 11月に出品されたデヴィッド・ホックニー「画家の肖像（プールと二人の人物）」は存命作家の作品としての既存記録の倍以上となる\$90,312,500（約99億円）で落札されました。
- 10月ニューヨークで、アッシリア王国のアッシュールナシルバル世の宮殿のために制作されたレリーフ「翼の精霊」（紀元前883-859年頃）が30,968,750ドル（約34億円）で落札され、アッシリアの石膏レリーフとしての世界新記録を更新、また古代美術の作品として2番目の高額記録を達成しました。
- アメリカではリージョナルオフィスのネットワークを活かして、ダラス、ヒューストン、マイアミ、シカゴ、サンフランシスコ、そして南米ではメキシコシティ、ボゴタ、サンチアゴ、ブエノスアイレス、サンパオロなど各地でイベントを開催しました。

アジア：アジア地域、またカテゴリーにとどまらない幅広い関心を示した顧客基盤

アジアの売上総額は6億1,310万ポンド、前年度比5%増/8億1,540万ドル、前年度比8%増（約884億円）アジアの顧客による落札は全体の25%を占めました。これまでクリスティーズの懸命な顧客開拓努力に支えられ、アジアの顧客による落札額の57%がオールドマスター絵画、戦後およびコンテンポラリーアート、そしてラグジュアリーなど、東洋美術以外の分野に向けられました。新規顧客の23%がアジアからのバイヤーでした。

- 香港、ソウル、台北、シンガポール、ジャカルタ、バンコク、東京、マレーシア、上海、北京、南京、広州などアジア各地でオークション、ツアー、レクチャー、展覧会、またスペシャリスト訪問など様々なイベントを開催しました。
- 秋にはアジアで初の試みとして、香港と上海で新規顧客向けのイベント、Christie's Lates を開催。
- 香港の春季オークションのハイライトは、エスティメートの倍近くで落札された、ザオ・ウー・キーの「14.12.59」落札価格

176,725,000香港ドル(約25億円)、そして、極めて希少な「清乾隆鬪彩八宝文天球瓶」落札価格
130,600,000香港ドル(約18億円)でした。

- 11月に出品となった蘇軾(1037-1101)の「木石図」は463,600,000香港ドル(約65億円)で、クリスティーズ・アジア地域で落札された作品として過去最高額を記録しました。

欧州、中東、ロシアとインド：主要カテゴリーで好調

欧州および中東での落札総額は14億ポンド、前年度比8%減/19億ドル、前年度比5%減(約2,039億円)でした。欧州と中東地域の顧客の落札額はグローバルの落札総額の36%を占めました。新規顧客のうち欧州および中東の顧客は37%。ロンドンのキングストリート会場では新規顧客数が28%増加しました。

- 2月ロンドンの印象派・近代美術デイセールの落札総額は20,636,938ポンド(約29億円)で、同カテゴリーのオークションとして過去最高額を達成。この分野での強い需要を裏付ける結果となりました。10月のフリーズ・ウィーク・シリーズのオークションのトップロットはフランシス・ベーコンの「運動中の人物」落札価格19,921,250ポンド(約28億円)、また陶磁器に特化した第1回 Un/Breakableオークションを開催しました。
- 11月の近代英国美術オークションイブニングセールの落札総額は17,875,750ポンド(約25億円)を達成。トップロットとなった、L. S. ローリーの「ノーザン・レース・ミーティング」はエスティメートの3倍以上まで競り上がり、5,296,250ポンド(約7億5千万円)で落札されました。
- 12月にはアンソニー・ヴァン・ダイクの「プリンセス・メアリーの肖像」が5,858,750ポンド(約8億円)で落札され、また エリック・アルバダ・イェルヘルスマ氏のコレクションより フランス・ハルスの肖像画1対が10,021,250ポンド(約14億円)で落札となりました。
- クリスティーズ装飾美術部門ではオークションのリブランディングを行い、Exceptional、The Collector、Interiors そしてSingle-owner collection、House salesと一新し、トレンドに敏感なテイストメーカーとのコラボなど刺激的なイベントを展開しました。
- パリでは2018年度、40のオークションを開催、17の落札世界記録を更新する快挙を達成。クリスティーズ・パリで登録したバイヤーのうち27%が新規顧客でした。
- クリスティーズ・アムステルダムは特に戦後およびコンテンポラリーアートの分野で優れた結果を残しました。11月のオークションは落札総額8,078,500ユーロ(約10億円)を達成。うち、アヴァンギャルド・グループ、コブラの誕生70周年を記念してキュレーションを行った「Cobra 70 Years」の特別セクションは落札率99%(ロットベース)を達成しました。
- クリスティーズは2018年スイス拠点開設50周年を迎えました。11月ジュネーブのラグジュアリーセールでは「ウィンストン・ピंक・レガシー」を一目見ようと4,000人を超える来場者があり、結果として、ジュネーブのすべてのオークションハウスの最高記録をも塗り替える50,375,000スイスフラン(約55億円)で落札され、クリスティーズ宝石部門が25年連続でマーケットリーダーとしての地位を確固たるものにしました。
- クリスティーズイタリアの60周年を記念して4月にミラノで開催されたオークションはロットベースが落札率91%、ピエトロ・マンゾーニの「Achrome」が2,970,000ユーロ(約3億7千万円)で落札され、イタリアで落札された戦後美術の作品としての落札記録となりました。
- 毎年3月に行われるドバイオークションでは、エジプトのファールーク王のためにつくられたパテック・フィリップのref1518が落札価格3,350,700ディルハム(約1億円)で、中東で落札された時計としての落札記録を更新しました。10月にロンドンで開催された中東近代およびコンテンポラリーアート・オークションには、広く18か国から入札登録があり、中近東の芸術の魅力が国際的に評価されていることを示しています。

デジタル分野での成長およびオンラインオークション；革新を続けオンラインセールをリード

オンラインでの売上総額は、2017年の1億6,560万ポンド/2億1,450万ドル(約236億円)に対し、2018年は1億8,830万

ポンド/2億5,040万ドル(約271億円)を達成。年間で88回開催されたオンライン・オークションの落札総額は6,510万ポンド、前年度比16%増/8,660万ドル、前年度比20%増(約94億円)を達成しました。

オンラインオンリー・オークションは依然として新規顧客獲得に大きな役割を發揮しています。(新規顧客の41%) オンライン・オークションのロットあたりの平均落札額は8,357ドル(約92万円)で2017年度の7,305ドル(約80万円)より上昇。2018年度のオンラインの新規登録者数は前年度比49%増となりました。

- 11月初旬の*An American Place: The Barney A. Ebsworth Collection*オークションではブロックチェーン技術を駆使するArtory社と提携。
- ロックフェラー・コレクション出品作品の三分之一がオンラインで落札されました。
- 2018年、オンラインで落札された珍しいアイテムの一つは、2月に237,500ドル(約2,613万円)で落札された、キャニオン・ディアブロ隕石です。また、オンラインオンリー・オークションのハイライトを飾ったのは、故スティーブン・ホーキング博士の遺品の数々で、博士が使用した車椅子も落札価格296,750ポンド(約4,214万円)とともに、博士の論文 落札価格584,750ポンド(約8,303万円)やメダル 落札価格296,750ポンド(約4,214万円)が2018年にオンラインでの落札最高額を記録。売上はホーキング氏の基金とMND協会へ寄付されました。
- エドモンド・ベラミーの肖像画「ベラミー一家」がAI(人工知能)が描いた作品として初めてオークションに出品され、43万2,500ドル(約4,758万円)で落札されました。
- 年末にはモバイル向けのクリスティーズ・ライブビッドアプリの利用が可能となりました。
- ウェブサイトとソーシャルメディアのコンテンツの充実により新しい顧客層が拡大し、サイトおよびアプリを介して2018年のchristies.comへのユニーク・ビジター数は180か国から1,100万人を超えました。特集記事やエッセーなど、魅力的なコンテンツの提供によりページビュー数は前年比37%増となりました。ソーシャルメディアも顧客エンゲージメントに重要な役割を果たしており、ロックフェラー・セールではWeChatの閲覧数84,000、インスタグラムのフォロワー数は前年度比で23%増となりました。

プライベートセールのハイライト クリエイティブな展示

プライベートセールの売上総額は4億9,120万ポンドで前年度比4%増/(約698億円)となりました。パリでは、ベルサイユ宮殿に収蔵された1776年ジャン＝アンリ・リーズネルのコモドをはじめ、美術館や文化機関による多くの作品購入を実現しました。アジアでは、2月に北京で中国家具から現代中国水墨画や奇石まで厳選された作品60点を展示したのを皮切りに、年間を通してプライベートセールを目的とした作品展を開催してまいりました。香港では、特徴的なストリート・アートで知られるマイケル・ラウの作品を展示し、これまでクリスティーズに足を運んだことがなかった人をも引き付けました。第3回目となるローデットブラッシュ展は、クリスティーズ香港で定期的に行われている企画展で、今回はファン・ゴッホが与えた影響に焦点をあて、貸与作品と販売作品を並べて展示し、26,000人の来場者を集めました。また、ベルリンでは4月に Making and Collecting Art in Germany 展、そして、ロンドンのオールドマスター絵画部門と戦後の美術部門のコラボレーション企画、Sacred Noise 展が開催されました。

クリスティーズ・エデュケーションとクリスティーズ・インターナショナル・リアルエステート

クリスティーズ・エデュケーションでは、近現代美術やアート・ビジネス、美術史、アートとテクノロジー、そしてラグジュアリーなど幅広く様々な分野の講座を用意しています。2018年度は59か国から1300名以上の生徒が89のプログラムを受講しました。ロンドン校、ニューヨーク校、香港校、そしてオンラインでも開講しています。新たに美術史および美術業界実務の修士課程が今年の9月からロンドン校で開講します。さらに学習および美術界への就職機会の均等化を目的として、クリスティーズ・エデュケーションでは、2019-2020年度にロンドン校とニューヨーク校の修士課程に入学申請する生徒の4名が受けられる、学費そして生活費全額負担の奨学金制度を設けています。また、オンラインでも、春からクレア・クアンドリュー博士による「アートマーケット・エコノミクス」そして「マティスからマグリットまで：近代西洋絵画における市場と動向」の2つの講座を開講します。

クリスティーズ・インターナショナル・リアル・エステートのネットワークは48か国に広がっており、2018年には新たにアスペン、バンクーバー、台湾、そしてフランスのラポールの各社と提携。さらに、北米のお客様のためにクリスティーズ・ニューヨークのロックフェラー社屋に新しく不動産のギャラリーを開設し、2019年にはハンプトンズにも新たな不動産仲介会社を設立予定です。

2019年の予定

2月27日にクリスティーズ・ロンドンの印象派・近代絵画オークションのメインセールは*Hidden Treasures: Impressionist and Modern Masterworks from an Important Private Collection*を中心とし、クロード・モネ、ポール・セザンヌ、フィンセント・ファン・ゴッホの作品が登場します。また3月6日の戦後およびコンテンポラリーアート・オークション、イブニングセールでは、エブスワース・コレクションより、デイヴィッド・ホックニーの「ヘンリー・ゲルツァラーとクリストファー・スコットの肖像画」（1969年、エスティメートはおよそ3,000万ポンド/約42億円超）が出品されます。また、6月にはクリスティーズ・ニューヨークでロックンロールレジェンドのデイヴィッド・ギルモアのギターコレクションが出品となります。

（日本円は参考換算価格：2019年2月、1^{ポンド} = 142円、1^{ドル} = 110円、1^{ユーロ} = 125円、1^{スイスフラン} = 110円、1^{香港ドル} = 14円、1^{ドイツマルク} = 30円。ポンドとドルが併記されている場合は換算額の間接値を採用）

注）為替レート変動を加味するため、2018年の金額は英ポンド、米ドル併記とし、加重平均値（SWA: Sales Weighted Average）として1:1.330を採用しています。落札価格は買い手手数料を含みます。

<クリスティーズについて>

クリスティーズは1766年にジェームズ・クリスティーズが設立、以来、数世紀にわたり比類なき美を提供し続けてきました。オークション、プライベートセール、オンライン・オークションによる取引高は、2018年は53億ポンド/70億ドルに達しています。様々な美術品や宝石、時計、装飾美術など80分野を扱い、年間約350回ものオークションを開催、プライベートセールも長年行っており、特に現代アート、印象派・近代絵画、オールドマスター絵画、ジュエリーの分野で活発です。東京を含む世界46ヶ国の都市にオフィスを構え、ロンドン、ニューヨーク、香港、パリ、ジュネーブ、ドバイ、上海など世界10ヶ所の会場でオークションを開催し、オークションやプレビューをロンドンやニューヨーク、パリ、ジュネーブ、ミラノ、アムステルダム、ドバイ、香港、そして上海などで成功させています。

お問い合わせ：株式会社 クリスティーズ ジャパン
広報担当 白仁啓子 kshirami@christies.com
TEL: 03-6267-1766 FAX: 03-6267-1767

Instagram
クリスティーズジャパン
オフィシャル日本語アカウント
はじめました



FOLLOW CHRISTIE'S ON:

